

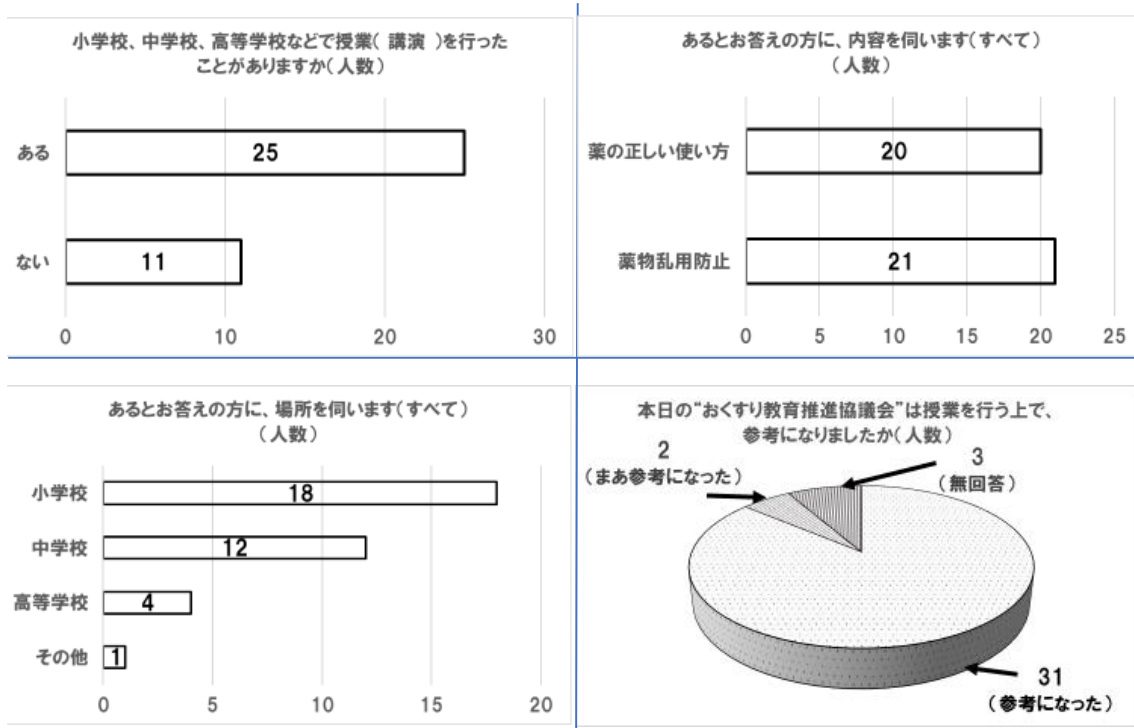
# 『第 1 回おくすり教育推進協議会』アンケート結果

\*\*\*\*\*アンケート\*\*\*\*\*

1. 小学校、中学校、高等学校などで授業（講演）を行ったことがありますか。  
 ・（ ）ない ・（ ）ある  
 あるとお答えの方に、内容と場所を伺います。すべて○を付けてください。  
 内容 ・（ ）薬の正しい使い方 （ ）薬物乱用防止  
 場所 ・（ ）小学校 ・（ ）中学校 ・（ ）高等学校 ・（ ）その他（ ）
2. 本日の“おくすり教育推進協議会”は授業を行う上で、参考になりましたか。  
 ・（ ）参考になった ・（ ）まあ参考になった ・（ ）参考にならなかった
3. 次回以降の“おくすり教育推進協議会”の内容・構成などについて、ご希望をお知らせください。
4. ご意見、ご感想などございましたらぜひお聞かせ下さい。

\*\*\*\*\*アンケート集計結果\*\*\*\*\*

**おくすり教育推進協議会(2021/03/13)申込者:64名、参加者:51名、アンケート:36名**



## “おくすり教育推進協議会”の内容・構成などについて、希望、意見、感想など

### 1. リモート開催について

- 「良い、助かる」とのコメントが多い

理由：気楽に参加できる。勤務時間、通勤などと調整しやすい。など

ただし：コロナが落ち着くまで。まだあと1~2回は。との付帯意見も

- 一方、集まれるのが理想、顔を合わせて聞きたい、リアル研修が第一希望、などのコメントも見られる

### 2. テーマ・内容について

- 「興味ある内容で参考になった」とのコメント多い

今後ともタイムリーなテーマを希望する

#### ○講演 1 海外の大麻規制から考える薬物乱用防止について

- ・大変タイムリーなテーマ
- ・海外の大麻使用の実態を知ることができた
- ・大麻規制の実情を知ることができた
- ・報道にない内容で講義に役立つ

#### ○講演 2 おくすり教育の推進と新たな課題

- ・薬剤師としての責務を認識した
- ・児童、保護者へのくすり教育の意義を理解した
- ・エナジードリンクの注意喚起の難しさを感じた
- ・実験をしながらの教育がしたい

#### ○その他

- ・実際に行った授業の内容を知りたい、見学したい
- ・経験談（成功例、失敗例）を知りたい
- ・各校で使っている資料や映像等に興味がある
- ・薬物やカフェイン、OTC医薬品の乱用などの現状を知りたい
- ・エナジードリンクについてくすり教育に加えたい

### 3. 感想

- ・薬剤師の活動の幅広さを知った
- ・活躍していきたいと思える前向きな気持ちになった
- ・社会貢献できる取り組みを広げていけたらと考えている
- ・何を伝えていくべきなのかの指標がほしいと切実に感じた
- ・次回は少人数で意見交換をしてみたい
- ・初めてのリモート参加、戸惑いながらもいい経験になった

#### (参加した学生からの感想)

・初めてこのような講演に参加したため緊張しましたが、貴重なお話を聞かせて頂くことができとても良い経験になりました。また機会があれば是非参加させて頂きたいです。本日はどうもありがとうございました。

・この度は素晴らしい講演に参加させていただき、ありがとうございました。まだ学生の身ですが薬剤師になることができれば、自身の業務を遂行するだけでなく、皆様方のように薬に関する知識を深め、それを広めることにより、地域の方々のお役に立てることができればなと思いました。

## 『第 1 回おくすり教育推進協議会』

日時:令和 3 年 3 月 13 日(木) 18:00 ~ 19:30

場所:各場所にて

〔参加者〕 Zoom 51名 (申込者64名)

明治薬科大学サテライトキャンパス及び西武薬剤師会管理センター 参加者な(委員のみ)

〔式次第〕

- ・初めのあいさつ 福田先生
- ・講演 1 海外の大麻規制から考える薬物乱用防止について 船田先生
- ・講演 2 おくすり教育の推進と新たな課題 加藤先生
- ・質疑応答
- ・終わりのあいさつ アンケートへのご協力依頼 福田先生

〔講演〕

### ☆初めのあいさつ

参加者への注意喚起→ マイクオフ、名前の変更等 スクリーンショット等の禁止  
会の発足の経緯→日本おくすり教育研究所及び西武薬剤師会との共催  
今後『日本おくすり教育推進協議会』として運営

### ☆ 講演 1 海外の大麻規制から考える薬物乱用防止について

- ・本日の講演内容については、薬物乱用防止教室ですべての事情を児童等に伝える必要はないが、海外の大麻事情を把握しておくことは重要なので、今回のテーマとした。
- ・大麻の危険性を知るうえで、大麻成分を正確に理解することが必要である。特に THC・CBD の成分の特性について
- ・大麻使用における危険性 (人における作用)
- ・CBD の海外での医薬品として使用されている現状の理解
- ・海外での使用におけるルール 嗜好用の大麻について 主にアメリカの例を挙げて説明
- ・大麻規制ルールの変更により、アメリカでの生活環境で様々な問題が表面化している事例を説明
- ・流通している大麻の特性の変化について
- ・大麻の問題を考える中で正しい議論ができることための情報提供をしていきたい

### ☆講演 2 おくすり教育の推進と新たな課題

- ・小・中学校及び高校等で話をするとき、例えば海外における大麻合法化には年齢制限があるなどの話を加えるなど、話題の取り上げ方で生徒の興味、注目が変わってくるので、先生方が現場で役立つ情報提供をしたい。
- ・学習指導要領について→小学校にくすり教育ない、加えるための活動を
- ・学校薬剤師の職務について 主に保健指導
- ・薬剤師がかかわるおくすり教育 期待・喜び・責務→  
まずはトライしよう 薬の専門家として養護の先生等に知らせていこう→教材紹介  
責務:最近 1 年以内に薬物乱用の治療を受けている主な使用薬剤について  
向精神薬(医薬品の誤った服用方法)→増加傾向

- 市販品→10代で40%以上　せき止め、鎮痛剤、  
エナジードリンク(カフェイン)
- 従来のダメ・ぜったいだけでは不十分→くすりの適正使用の指導の必要性が増す
- ・日本おくすり教育研究所の活動報告並びに利用方法→学校薬剤師の先生方の活動フォロー
- 養護教諭との協力活動並びに保護者への啓発活動の必要性

## ☆質疑応答

- 小平市 福田先生 「船田先生に 海外での大麻使用許可が下りたところでの大麻の含有量について教えてほしい」
- 船田先生 「海外で嗜好品として販売されている大麻に、特に含有成分の基準はない。また単一に製品を作るのも難しい現状がある。パッケージには明記されていない。法律では所持量の規制。州によっては一定の量を規制する動きがある。今後ルールが変わっていくであろう。」
- 西東京市 くらべ先生 「船田先生に 中学校での薬物乱用教室で大麻の話をしたい。海外のお土産で大麻含有したものを食し、救急搬送されたというニュースを聞き、海外での売買での現状や日本への持ち込み等の規制はどうなっているのか？」
- 船田先生 「海外での販売は、許可制になっている。製品は、誤飲誤食にならないように二段ジップ形式など取っている。食品には表示するのが義務制ではあるが、開封してしまうと内容物が分からなくなる。日本への持ち込みは禁止だが、すべてが発見できるものではなく、意図せず食してしまう危険性は潜んでいる。内容がわからないものは飲食しないという自衛しか現状のところない。」

## ☆補足

- 船田先生 海外の医療での大麻使用の注意点→オレゴン州10の疾患に使用できるが、イリノイ州では40の疾患で使える。日本の医薬品の考えでは疾患のまちまちなのはあり得ない。従って用法・用量での検討がはまだまだ必要である。アメリカでは35州と D.C.で医療用として医師の監督下で使用が認められている。
- 罰則規定について 罰金、禁固刑
- カリフォルニア州での場合→18歳未満は罰則ではなく、カウンセリング等により薬物乱用からの脱出のケアサポート
- 加藤先生 小学校での教科書 薬物乱用についての項目で、医薬品の正しい使い方の説明が明記されている
- カフェイン錠剤が多くみられるようになり、過剰摂取の危険性を今後生徒たちにもきちんと説明する必要がある。現在教材の作成中今後期待してほしい
- 福田先生 医薬品のカフェインは15歳未満は使用禁止だが飲料水のカフェインは規制が難しい。過剰摂取の危険性等の説明をすることは必要不可欠となってきている。ともに検討していきましょう

## ☆終わりのあいさつ

会発足の経緯、役員紹介

アンケートの依頼

アンケート回収について 2021年4月1日現在 36名より回答あり